## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

07-147426

(43) Date of publication of application: 06.06.1995

(51)Int.Cl.

H01L 31/108 G11C 11/42 H01L 27/15 H01L 29/43

(21)Application number: 05-292318

(71)Applicant: NEC CORP

(22)Date of filing:

24.11.1993

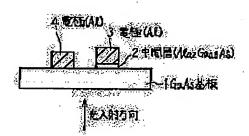
(72)Inventor: FUJIEDA SHINJI

## (54) SEMICONDUCTOR DEVICE

## (57) Abstract:

PURPOSE: To provide a semiconductor device which has an element that has both light receiving function and storing function by providing an electrode by successively laminating a middle layer formed of a specific compound semiconductor thin film and a metal film on a semiconductor substrate.

CONSTITUTION: An electrode 3 which has a metal/semiconductor structure is formed on a semiconductor substrate 1 as a light receiving and storing element on a semiconductor substrate 1. Then, a compound semiconductor thin film whose stoichiometry ratio is not one, not containing excess element deposition, is inserted between the metal/semiconductor structured electrode 3 and the semiconductor substrate 1 as a middle layer 2. The material of the compound semiconductor to be the middle layer 2 can be the same or different from that of the semiconductor of the substrate 1, and it can be either single crystal or non-single crystal. Thus, a semiconductor device provided with metal/ semiconductor junction that has both light receiving function and storing function is provided.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

29.03.1994

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

08.04.1997

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

ව

噩

特開平7-147426

(43)公開日 平成7年(1995)6月6日

技術表示箇所						是株耳に扱く
				ပ	H	(全 4 頁)
						0 0
				H01L 31/10	28/46	関水項の数2 OL (全 4 頁) 最終頁に統<
FI				Ξ		慄.
2000年 广内整理器号			Z 8832-4M		7376 -4M	<b>张祖祖外</b>
<b>经</b> 例配号		Ω	7			
	-31/108	11/42	21/12			
(51) Int.CL.	H01L 31/108	G11C	H011 21/12			

机京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株 (42年) 机东都港区芝五丁目7番1号 超白 日本電気株式会社 中国 大路中 酥枝 位次 000004237 共会社内 71)出版人 (74) 作到人 (72) 完明者 平成5年(1983)11月24日 存置平6-292318 (21) 田田時中 (22) 出国日

(54) [発明の名称]

[目的] 受光および配位機能を同時に持つ架子を有する (57) [要約]

As 薄膜の中間層2を散け、その上にA1電極3を散け [構成] GaAs基板1上KAs過剩A10.1 Gao.a 5. 更にGeAs基板1上にA1配板4を設ける。 半導体装置を実現する.

2中間層(Alaz Gaas As) 3 單極(AL) 

【体許請水の範囲】

【群水項1】 半導体基板上に化学量臨比が1でなくか つ過剰元素の折出物を含まない化合物半導体薄膜からな る中間層と金属膜を順次積層して構成される電極を備え ていることを特徴とする半導体装置 【翳水項2】 半導体基板上に化学量臨比が1でなくか つ過刻元素の析出物を含まない化合物半導体膵臓からな る中間層と絶縁性薄膜と金属膜とを頃次積層して構成さ れる虹極を備えていることを特徴とする半導体装置。 [発明の詳細な説明]

[000]

【産業上の利用分野】本発明は、半導体装置に関し、物 こ記憶機能を有する電極の構造に関するものである。

[0002]

**【纸米の技術】光デバイスと気子デバイスを一体化させ** た半導体装置(OEIC)は、光の持つ並列性を利用し た並列信号処理装置として期待されている。 〇EICで 並列の光信号を資算処理するには配憶機能が必要であ

しまうのを有効に防ぐためである。

5。 すなわち、入力期間中に個々の受光癖子へ与えられ た個号内容が何らかの形で配憶されたのち、これを既み とって資算し配気的な出力を行なう。通常、配億森子は 受光楽子と別に散けられる。

[0000]

子と配位繋子の両方を別々に散けることは、OEICの 高集積化には不利である。本発明の目的は、受光と配像 の機能を同時に持つ祭子を有する半導体装置を提供する [発明が解決しようとする瞑題] しかしながら、受光器

[0004]

妃徳寮子として、金属/半導体構造の配極を作製し、こ の金属/半導体界面に、化学量臨比が1 でなくかし過剰 元粲の折出物を含まない化合物半導体の薄膜を中間層と して挿入する。第2の発明では、中間層と金属とを絶録 在部膜で分離する。ここで、中間層となる化合物半導体 の材料は、基板半導体と同じ材料でも異なる材料でも良 く、また、単結晶でも非単結晶でも良い。絶録性薄膜の またAlx Gal-r As, I'nr Gal-r Pや他の高低 **ボワイドパンドオセップ半導体を用いても良く、更に中** 【課題を解決するための手段】第1の発明では、受光・ **岡層化合物半導体を酸化, 強化させて形成した酸化膜,** A並には、SIOz 、SINz ,AINや唐の諸藩孫、 盛化膜でも良い。

質/半導体(MIS)構造に当たる。しかし、中間圏内 の欠陥準位が金属との直接トンネリングでキャリアの抽 優ないし放出をせぬよう金属と中間層を分離することが Nr やSiOr なみの10160cmといった高い値はか [0005] 第2の発明の構造は、厳密には金属人絶縁 この構造の主旨であり、絶縁性薄膜の抵抗率としてSi ならずしも要求されない。

【作用】 発光デバイス、 特に発光ダイオードの材料が化 9個半単体に限られることから、0m10の材料には化 合物半導体が主に用いられる。本第1の発用で用いる会 6人半導体構造の半導体装置は、化合物半導体で吸む容 サイトガリウムや砒素空孔が多数存在する。また、逆に 配配億機能を劣化させるので、中間層は折出物を含また 易に作製でき集積化に適当な構造である。本発明の化合 物半導体の中間層には、化学量輪比ずれによる欠陥が多 虫球過酸なG a A s 中にはアンチサイト虫球やガリウム **扱わせることができる。 が出物は再結合選度を高くし上** いものとする。第2の発明では、金属と上記中間層とを 治縁性薄膜で分離する。これは、中間層に抽捉されたキ トリアが金属へトンネリングし記憶保存機能が劣化して 数台まれる。例えば、G a 過型なG a A s 中にはアンチ 空孔が多数存在する。これらの欠陥は、それぞれに特有 楠挺したキャリアを容易に放出しないので、配像機能を の電子的単位を持つ。これらの欠陥単位は低して深く、 2

ても良い。第1の配摘が節パイアスとなるよう第1. 類 5. すなわち光入力の有無が受光楽子において配値され [0007] 本発明の強型の構造で受光・配値動作を得 るには、図1,図2に示すように、中間層2とA13あ ド格強を作製する。 配価4の材料は電価3の材料と違っ 中間層 2 内の単位に捕捉される。光照射・電圧印加をや 中団磨2)接合,あるいは中間磨2とSiN\* 膜5と塩 ることにより、これら個々の接合電極に入力した蓄積電 るいは中国暦2とSiN, 膜5とAl3を第1の配稿と し、第2の金属(A1)電極4を設けてMSMダイオー 2の電極間に配圧を印加しつつ、半導体 (GaAs) 基 阪1のパンドキャップれりコネルギーの大きなパルス光 (春き込み光) を照射して半導体基板1中にキャリアを 発生させ光気流を誘起する。この時、キャリアの一部が からキャリアを放出させれば良く、この時配極関に配流 たのち舷み出される。さらに、金属/半導体(包括3と 簡3との接合を有する配価を複数と、電極4を1つ設け すなわち、ある時間内に個々の配憶装置に与えられた入 めても、単位の磔さに応じた時間内では結挺状態が十分 保持される。信号の読みだしには光を照射して欠陥準位 荷の和を包括4での配流値から既みとろことができる。 が生ずる。この放出電荷量は香き込みの有無に対応す 力信号の和資算が可能になる。 2 30 \$

[奥茄例] 次に本発明を図面を用いて説明する。図1は **た発明の第1の実施例の新西図である。** [0008.]

0, 基板温度を200℃, 成長速度を0.8μm/時と FにAs 過類A 10.1 Gao.1 As 複版の中間層2, ₹ の上にAlからなる電極3を積層する。As過剰AlG a A s 中間層 2 は、A s / (G a + A 1) ピーム比を 1 [0009] 図1において、 (100) GaAs基板1

するMBE(分子根エピタキツー)法で成長させ、厚さ

ટ

[0000]

+

7

臨別記号 庁内整理番号

ഥ

技術安示協所

**特阻平7-14742**·6

€

を0.5~10nmとする。成長後、表面結晶性向上の

ල

同様のA s過剰A 10.2 G 80.8 A 8の中間層 2を形成 せ絶数性薄膜を形成したのち、AIを蒸着する。これを の電極を作製したのち、SiNx 膜5を含まない第2の 【0013】 図2は本発用の第2の供稿函の節画図であ 後、SIN\* 膜5を厚さ0. 5~3nmスパッタ構葺さ 整形して、中間層2AとA1配極3Aが分離された第1 5。図2において、GaAs基板1上に第1の奥施例と A1 町橋4Aを形成する。

させたのち、このAI膜を通常のリソグラフィにより整

型し配価3、4とすればMSMダイオードが得られる。

1~0.96VのAsアンチサイト欠陥部付やなつ中国 層2が形成される。この上に室位でA1膜をMBE成長

ためAsaを照射しながら450℃で5分間熱処理す 5. これにより、強度約1019cm-3の、伝導符下0 構成しても同じ配御機能を有するダイオードを形成する

ことができる。図1を用いて適用例を説明する。

[0010] 尚、基板や中間層及び咀極を他の材料から

層をArイオン照射法で形成後、その上にTiNからな イギンや苔斑の用50~100Vで1×1016c日-2胚

る電極を積層する。室温でGaAs基板1の表面にAr

**村し、基板を450℃で5分間熱処理する。これによ** り、養度10<sup>18</sup>~10<sup>19</sup>cm-3の価配子格上0.4~

00) GaAs 基板1上にGa過剰GaAs 解膜の中間

【0011】第1の適用倒としては図1において、(1

スしの流を光照射により誘起する音を込み過程での中間 【0014】このように第2の奥施例では、絶録性膵膜 中間層 2 A内の単位にキャリアが捕捉される割合が増加 **する。また、春き込み後間み込みまでに生じうるキャリ** F 再放出過程のうち、電極3Aへのトンネル過程が阻ま れる。したがって、本第2の奥施例では第1の実施例に としてSiNi 殴5の挿入により、配極3Aを順パイプ 層2Aから電極3Aへのキャリア流入が阻まれるため、 くらく記憶保存性が改善される。

[発明の効果] 以上説明したように本発明によれば、受 光と配位の機能を同時に持つ金属/半導体接合を有する 半導体装置が得られ、OEICの高集積化が可能になる という効果がある。 [0015]

20

をスパッタ茶着させる。TiNをリソグラフィにより数

型し配摘とすればMSMダイオードが得られる。

【0012】 毎2の適用気としては図1において、(1

~3n日の中国層が形成される。この上に的値でTiN

0. 6eVのGaアンチサイト欠陥部位を持つ、回さ1

[図面の簡単な説明]

その上にA1からなる電極を積層する。Ga過剰GaA s中間層は、Ast /Gaピーム比を0.5, 基板道度

00) InP基板上にGa過類GaAs薄膜の中間層、

【図1】本発用の第1の実施例の斯田図。

【図2】本発男の第2の実施例の原旧図。

GaAs基板 [符号の説明]

9、後度約1010に円-3の、街気子帯上0.4~0.6 30

5nmとする。成長後、表面結晶性向上のためAstを

照射させずに450℃で5分間熱処理する。これによ

(分子様エピタキツー) 独で成長させ、厚さを0. 5~

を200℃, 成長遊度を0.8 μm/時とするMBE

が形成される。この上に富温でAIをMBE成長させリ

e V O C a アンチナイト欠路部位を持つC a A s 中国函 ソグラフィにより整型しむ価とすればMSMダイオード

4, 4A

(M)

H01L 29/43 (51) Int. Cl. 6

-3-